

要するに崑崙、ヒマラヤ「兩大山脈の兩面は、人類學者の好個研究所にして、原始時代のまゝなる民族は、蠢々として斯學者の來遊を翹望せるものゝ如し。

第四章 風俗

第一節 總說

社會に流露する風俗は、人の内部に伏在する精神の發現に外ならず。而して吾人の精神は、周圍の風土氣候及社會、政治、教育、宗教等の勢力感化に依りて變化す。故に如何程多くの異人種雜居の社會も、永く同一勢力に接觸するに於ては、遂に或る程度まで相互同化し得べきものなり。然りと雖も、相互精神同化の遲速は、即ち周圍の天然并に人為勢力感化の速度に比例し、風俗の推移は、精神氣象の進化如何に隨伴するを免れざるなり。

新疆に於ては、曩に敘述したる如く、多くの異人種雜居して、周圍の地形、氣候、言語、宗教、教育等同一ならず。隨て其の人情、智識、意志、氣象も亦區々に分れて、生活狀態